

新入生 防災訓練

2018年5月2日（水）



新1年生が防災訓練を行いました。

いつ災害がおきてもおかしくないと言われているいま、看護師を目指す学生たちが防災訓練を行うことは大きな意味を持ちます。なぜなら、看護師・看護学生は災害時、患者さまの命を守る役割を担うからです。

この日は、あいにく強風のため実際の火を使うことはできませんでしたが、水消火器と消火栓の使い方を、全員で体験しました。

前日には、広域避難場所の公園・小学校の確認にも出かけています。もしもの時は、学校または避難先で救護活動の支援にあたることもあります。実際、東日本大震災の時には、避難所で看護学生が活動をしたそうです。

看護学生として、日頃から防災意識を持ち、いざという時まずは自分の身をしっかりと守ること、そのうえで患者さま・地域の方々を守る行動がとれるよう備えておくことが大切です。

